

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 11 日

事業名称		国際交流事業費[日本語学習ボランティア支援事業]																																																						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 12	地域振興費	事業番号	3																																																
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																																																							
担当部署・課長名	地域振興 課 市民協働・消費（市民協働） 係					課長名	石川正憲																																																	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	5 - 4																																																	
【施策名】 地域を越えたパートナーシップの確立						総合計画書 (ページ)	113																																																	
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）																																																			
	日本語学習ボランティア				日本語学習ボランティア教室（3グループ）で外国人に日本語を教えているボランティアの人数（年度当初の日本語ボランティア人数） →																																																			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）																																																			
	①日本語の話せない外国籍住民に対し、継続して学習ボランティア活動を行うとともに、日本語指導スキルを向上させる。 ②新規ボランティアの加入				①日本語学習ボランティア教室（3グループ）でボランティアを行なっている人数 ②年度途中でボランティア登録した人数																																																			
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）																																																			
	①ボランティア保険の加入 ②日本語学習ボランティア入門講座の開催 ③日本語ボランティアグループの活動場所の予約 ④日本語ボランティア教室のPR（市報掲載）				①加入人数 ②講座開催回数 ③予約件数 ④市報掲載回数 →																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>44</td> <td>53</td> <td>44</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>人</td> <td>①44 ②2</td> <td>①53 ②0</td> <td>①44 ②0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目 標</td> <td>②の数値</td> <td>①人 ②人</td> <td>①60 ②5</td> <td>①60 ②5</td> <td>①60 ②5</td> <td>①60 ②5</td> </tr> <tr> <td colspan="6">目標値設定の考え方 ①実績以上 ②実績以上</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>①人 ②回 ③件 ④回</td> <td>①46 ②1 ③190 ④3</td> <td>①53 ②0 ③189 ④3</td> <td>①44 ②1 ③187 ④3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	対象指標	①の数値	人	44	53	44		成果指標	②の数値	人	①44 ②2	①53 ②0	①44 ②0		目 標	②の数値	①人 ②人	①60 ②5	①60 ②5	①60 ②5	①60 ②5	目標値設定の考え方 ①実績以上 ②実績以上						活動指標	③の数値	①人 ②回 ③件 ④回	①46 ②1 ③190 ④3	①53 ②0 ③189 ④3	①44 ②1 ③187 ④3							
		単位	過去2年間の実績				当該年度	成果目標																																																
平成31年度実績			令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標																																																		
対象指標	①の数値	人	44	53	44																																																			
成果指標	②の数値	人	①44 ②2	①53 ②0	①44 ②0																																																			
目 標	②の数値	①人 ②人	①60 ②5	①60 ②5	①60 ②5	①60 ②5																																																		
	目標値設定の考え方 ①実績以上 ②実績以上																																																							
活動指標	③の数値	①人 ②回 ③件 ④回	①46 ②1 ③190 ④3	①53 ②0 ③189 ④3	①44 ②1 ③187 ④3																																																			
3 経費	事業費（実績）		円	47,472	96,306	22,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）																																																	
	財源	一般財源	円	47,472	96,306	22,000																																																		
		特定財源（国・都・他）	円	0	0	0																																																		
		（うち受益者負担）	円	0	0	0																																																		
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2																																																		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0																																																			
		職員人件費(再任用以外)	円	1,662,000	1,676,000	1,650,000																																																		
職員人件費(再任用)		円	0	0																																																				
事業費+人件費		円	1,709,472	1,772,306	1,672,000																																																			
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度																																																					
	(2) 環境の変化		新型コロナウイルス感染症蔓延により、国際交流に対する関心と活動機会が減少した。																																																					

事業名称	国際交流事業費[日本語学習ボランティア支援事業]			
担当部署・課長名	地域振興	課 市民協働・消費（市民協働） 係	課長名	石川正憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	- 新型コロナウイルス感染状況悪化により、渡航制限等が影響し、ボランティア人員に対して学習者（外国人）が減少した。 - 新型コロナウイルス感染状況悪化により、学習教室を休止する期間がたびたび発生し、安定的な運営ができなかった。 - 日本語学習ボランティアを募集する市報記事を契機として新規ボランティアの登録を得た。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑤⑥⑦		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
	ボランティアの刺激となり意欲が向上するよう、学習者の新規加入の促進が望ましい。			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	日本語ボランティアグループへの新規加入者の獲得及び既存ボランティアの更なる意欲向上と活動定着を図り、更なる発展を図る。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
	- ボランティア保険の加入 - 日本語ボランティアグループの活動場所の予約 - 日本語学習ボランティア入門講座の開催 - 日本語ボランティア教室のPR（市報掲載、パンフレットの配布）			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	日本語ボランティアグループへの新規加入者の促進及び既存ボランティアの更なる意欲向上と活動定着を図ることを目的に、市報やパンフレットを活用してPRを図る。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 地域を越えたパートナーシップの確立			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】			
	引き続き、ボランティアグループに各支援を続け、運営について意見を交換したい。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	更に魅力ある学習の場になるよう、学習者のニーズやボランティアの意欲のバランスに配慮しながら活動を継続していただく。			